



▲給食センターの栄養士らも協力しておよそ100食を準備



▲写真右の中島美紀さん(3年生)は飯館中学校の出身



▲かまぼこ入りのものポイント

「自分で作ってみて、こだわりが分かりました。懐かしい味があります」

県立川俣高校の文化祭で、家庭クラブとJRC同好会の生徒たちが食堂メニューにしたのは、出身各地の「故郷の味」。その一つとして、村出身の生徒が中心となり飯館中学校の給食メニュー「牛井」が再現されました。実際に調理していた給食センターの元職員を訪ねてレシピを教わり、材料の手配にも奔走。千葉県に避難した小林将男さん(関沢)の牛肉10kgを企業から提供してもらい当日に臨みました。

▼佐野拓哉さん(2年生)が書いた手紙に答え、ファミ・ドット・コムが牛肉を提供



「実現できてびっくりだし、うれしい」と佐野さん

▲文化祭に合わせて小林将男さんから届いた手紙には、「幸せな気持ちにしてくれる牛井にして下さい。お願いします」と書かれていました



▲一打一打を仲間と楽しむようすが印象的でした

▶優勝の鈴木さん(右)と長澤さん(左)

村グラウンド・ゴルフ協会主催の大会が震災後初めて伊達市のグラウンドで開催されました。約60人の参加者は、気心の知れた仲間と互いのプレーをひやかしたり、コツを教え合ったりしながら和気あいあい。石井マサイさん(白石)は「親戚や同級生にも会えました」と話していました。競技は16ホールストロークマッチで、女性の部は鈴木四子さん(小宮)、男性の部は長澤茂さん(大倉)が優勝しました。



11/15 協会主催のグラウンド・ゴルフ大会

表紙の写真 「ふくしま駅伝」ゴールの瞬間

高橋俊希選手が福島県庁前にゴールした瞬間です。チームの力走のようすはP6・7をご覧ください。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

ふくしま駅伝では選手の力走や思いに感動。来年こそは全区間走破できることを望むばかりです(み) 熱い走りに感動しつつ駅伝のおっかけ取材はドキドキの連続。選手の皆さんの協力に大感謝です(ほ)

編集後記

写真右が戸内さん



相馬大野台仮設住宅に南相馬市在住の男性から写真が届きました。写真には「仮設住宅で、移動販売の5個入りのパンを買い、物置設置の業者に『10時だから』とあけていたおばあさんに出会いました。不自由な生活の中で他人を思いやる姿に心を打たれました」という内容の手紙が添えられていました。おばあさんの名前は戸内ハナヨさん(大倉)。温かな気持ちは知らない間に周りの人をかづけているのですね。

写真が届きました

